

応募資料作成要領

(各部門共通)

I 応募に必要な書類

応募にあたっては、以下の資料を提出してください。様式については、国土交通省ホームページ (<http://www.mlit.go.jp/>・・・・・・・・) よりダウンロードしてください。

応募資料に使用する言語は日本語とします。やむを得ず他国の資料を提出する場合は、日本語で解説を加えてください。

- ①申請書 (様式-A) ※1枚で収めてください。
- ②技術概要書 (様式-B) ※各様式1枚で収めてください。
- ③技術特性チェックシート (様式-C) ※適宜、必要な数だけ行を追加してください。
- ④添付資料 (任意)
- ⑤電子データ
(様式-A, 様式-B, 様式-C及び添付資料の電子ファイルを収めたCD-R)

※提出資料①②③④はA4判としてください。ただし、④については原則A4判としますが、パンフレット等でA4判では判読できない等の不都合が生じる場合は、任意の大きさに提出してください。また、④には通し番号を記入してください。

※①②③④は、左上角をWクリップで留め、まとめて1冊とし、合計3部(正1部、副2部)提出してください。なお、⑤は1部提出してください。

※ [N] については、以下のとおりとします。

- ・橋梁維持管理技術 [N] = [10]
- ・トンネル維持管理技術 [N] = [3]
- ・水中維持管理技術 [N] = [3]
- ・災害調査技術 [N] = [4]
- ・災害応急復旧技術 [N] = [3]

II 各資料の作成要領

A 次世代社会インフラ用ロボット開発・導入の推進 現場検証申請書

(様式-A)

- ・応募者は、「個人」、「民間企業」または「大学等」であること（ただし、「個人」及び「大学等」については、2年以内の事業化を前提とし、民間企業と共同開発している場合に限る）。応募者が「個人」の場合は、所属先と役職並びに氏名を記入の上、本人の印を押印してください。応募者が「民間企業」または「大学等」の場合は、企業または大学等名とその代表者の役職並びに氏名を記入の上、公印または代表者の印を押印してください。なお、申請書のあて先は「〒100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-3 国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課 ロボット技術公募担当宛」とします。
- ・「対象分野」は、該当する分野を1つ選択（□を■に）してください。
(同じ応募技術が、複数の分野に共通する場合であっても、分野毎に分けて記入してください)
- ・「1. 公募技術」は、公募要領「2. 公募技術(1) 公募技術」の[1]～[N]※で示された「番号及び文言」を、そのまま記入してください。1つの技術が[1]～[N]※を複数満たす場合は、同様式にまとめて複数記入してください。なお、様式-Bは、[1]～[N]※について、個別に記入してください。
- ・「2. 技術名称」は、30字以内でその技術の内容及び特色が容易に理解できるものとし、商標等も記入してください。
- ・「3. 新規又は継続」は、昨年度の現場検証の実施の有無に応じて、[新規・継続]のどちらかを選択（□を■に）してください。
- ・「4. 担当窓口（決定結果通知先）」は、応募にあたっての事務窓口・連絡担当者1名を記入してください。
- ・「5. 共同開発者」は、共同開発を行った応募者以外の個人や民間企業、大学等、行政機関について記入してください。なお、共同開発者がいない場合は、記入する必要はありません。

B 技術概要書 (様式-B)

- ・対象分野、公募技術、技術名称及び副題は(様式-A)と同一にしてください。
- ・1つの技術が[1]～[N]*を複数満たす場合は、[1]～[N]*のそれぞれについて、個別に記入してください。(満たす数の分だけ作成してください)
- ・上記の場合、下枠に、他に満たされる番号(1～N*)を記入してください。
- ・技術の概要は、200字以内で簡潔に記入してください。
- ・概要図は、写真やイラスト等を用いて、当該技術を分かりやすくお示してください。
- ・技術特性、現場検証に関する事項、実用上の費用は、以下の目次構成にしたがって記入してください。なお、必要であれば添付資料を添付し、参照する添付資料の番号、ページを記入してください。

1. 応募技術の特性

他の技術と比した優位性や特徴、評価を希望する点等について、要点のみ記入してください。

1-1 公募技術の【基本要件】に関する特性

応募技術の本公募要領の「2. 公募技術(1) 公募技術の【基本要件】」に関する特性について、要件毎に箇条書きで簡潔に記入してください。その際、応募技術・システムが達成している点検、調査または施工等の能力と対応可能な現場作業条件については、必ず記入してください。また、記入にあたっては、応募技術によって現状技術の改善が期待される点を明記してください。

1-2 公募技術の【公募技術に期待する項目】に関する特性

応募技術の本公募要領の「2. 公募技術(1) 公募技術の【公募技術に期待する項目】」に関する特性について、要件毎に箇条書きで簡潔に記入してください。記入にあたっては、応募技術によって現状技術の改善が期待される点を明記してください。

1-3 その他、応募技術の特性 (※任意)

上記1、2以外の応募技術に関する特性について、要件毎に箇条書きで簡潔に記入してください。

2. 開発状況

応募技術の開発状況について、該当箇所を選択(□を■に)してください。

開発中の場合は、開発状況及び実用化の目処を記入してください。あわせて、量産化や技術の提供など、事業化に向けた取り組みの内容も明記してください。

3. 改良・開発事項

昨年度の現場検証を実施した場合は、昨年度の現場検証を踏まえた改良事項について記入してください。そして、いずれの場合も、今回の現場検証を通じて目指している更なる開発事項について、記入してください。

4. 検証場所に関する提案

別紙-1で示す検証候補地に対する希望場所を、「記号にて」記入してください。

複数場所の記入が可能です。

なお、希望する箇所で現場検証をする際の、施設利用、運搬、設置、費用に関する条件等の留意事項があれば、記入してください。

5. 検証方法に関する提案 (※任意)

応募技術の特性を把握するため、希望する検証場所における検証方法に関する提案があれば、記入してください。

※ 上記 4, 5 の提案を踏まえ、現場検証場所、検証方法等について、協議の上、決定します。

6. 実用上の費用

応募技術の経済性に係る評価を行うために、実用上の費用の記入を求めます。このため、応募技術を実用（実務）上で活用する際に掛かる概略費用（※見込みも含む）を記入してください。

費用は、現場作業と机上作業について、労務費と資機材費に分けて記入してください。

現場作業には、当該技術・システムを現場で活用するために必要な運搬、設置、操作、撤去等の全作業の労務及び資機材に掛かる費用と共に、その根拠となる単価、時間及び施工数量等についても、可能な範囲で明記してください。なお、その際の想定現場は、別紙－1 で示す検証候補地の希望する候補地（1箇所）としてください。

資機材費としては、販売、レンタル、自社保有等の調達方法について、可能な範囲で明記してください。

机上作業には、「計画策定」、「点検または調査結果の整理」（災害応急復旧については不要）、「点検または調査結果の解析」（災害応急復旧については不要）、「報告書作成」を含むものとしてください。

橋梁及びトンネルの維持管理に係る積算にあたっては、「設計業務等標準積算基準書」（第3節 道路施設点検業務）を参考としてください。

【参考】

- ・特許取得情報は、応募技術の実施に必要な特許及び実用新案等の情報に関して、該当箇所を選択（□を■に）してください。
- ・建設技術審査証明等は、応募技術が過去に建設技術審査証明事業における審査証明書、または、民間開発建設技術の技術審査・証明事業認定規定（昭和62年建設省告示1451号）に基づく審査証明書を取得されている場合は必要事項を記入してください。また、応募技術が過去に建設技術評価規定（昭和53年建設省告示976号）を取得されている場合も必要事項を記入してください。
- ・上記以外で、応募技術の性能保証範囲を示すために検証や評価の実績（自主的な性能検証等も含む）がある場合、その内容を記入してください。その際、性能検証等の具体的方法が分かる資料を添付してください。（添付資料－4）
- ・活用実績は、応募技術がこれまで実用上活用された場合、その活用実績件数をそれぞれの機関毎に記入してください。
- ・添付資料一覧は、添付する資料名を本様式に記入してください。

添付資料－1：応募技術のパンフレット

添付資料－2：特許等の公開・公告された写し（特許等を取得している場合）

公開特許公報のフロントページ（特許番号、発明の名称が記載されているページ）のみをコピーしてください。

添付資料－3：公的機関の評価等の写し（技術審査証明・技術評価等を取得している場合）

添付資料－4：応募技術の性能検証等の方法が分かる資料

上記添付資料を含め、1つの添付資料の枚数はA4判10枚（パンフレット等で片面コピーでは

機能が維持できない場合を除き片面コピーを原則とする) 程度以内とします。

なお、各添付資料の先頭に添付資料番号(例: 添付資料-1)を付けてください。ただし、添付資料-1~4の中で該当する資料がない場合は、添付資料番号を繰り返さないでください。添付資料-1~4以外の資料がある場合は、添付資料-5から順番に添付資料番号をつけてください。

また、応募技術を説明する動画の添付も可能とし、そのURL(リンク先)がある場合はそれを記入し、また、電子データを添付する場合は提出用のCD-Rに保存してください。(添付する動画ファイル形式は「MPEG-4」、動画再生時間は「10分以内」としてください。)

※ [N] については、以下のとおりとします。

- ・ 橋梁維持管理技術 [N] = [10]
- ・ トンネル維持管理技術 [N] = [3]
- ・ 水中維持管理技術 [N] = [3]
- ・ 災害調査技術 [N] = [4]
- ・ 災害応急復旧技術 [N] = [3]

C 技術特性チェックシート (様式-C)

・応募技術の本公募要領の「2. 公募技術(1) 公募技術の【基本要件】及び【公募技術に期待する項目】」に示す要件及び項目について、該当する全てを記入してください。

なお、記入にあたっては、応募技術によって現状技術の改善が期待される点をなるべく具体的に記入してください。

例：本システムの持つ〇〇を△△する機能により、従来は××していたものを□□することで、現場での点検作業時間を半減することができる。

・その他、応募技術の特性として、上記以外の応募要件に関する特性があれば、記入してください。

・なお、様式-Bでは、上記の同要件及び項目等について、「要点のみ」の記入とし、この様式-Cでは、「該当する全ての内容」を記入してください。

・必要であれば添付資料を添付し、参照する添付資料の番号、ページを記入してください。(様式-Bと共通の添付資料でも構いません。)